

事業計画(案)

【総務広報委員会】

担当副理事長 齋藤 竜也

委員長 植村 怜 副委員長 奥山 真

メンバー 芳賀 景子 メンバー 本木 光 メンバー 鹿野 美紀

メンバー 鈴木 務 メンバー 今野 伸一

基本方針

一般社団法人は、総会によって前年度の事業報告と収支決算に伴い、本年度の事業計画と事業予算等についてメンバーの承認を得て、情報を明確にするとともに、まちづくりの団体として地域の皆様に対して公益事業を広く平等に提供しなければなりません。また、一方的に情報を発信するだけでなく、我々自身も地域が求めるニーズを収集することで、地域の利益となるJC運動を行っていく必要があります。

まずは、総会において、組織の意思統一を図るために、本年度の事業活動に対する個々のメンバーの志気を高め、活気と魅力あるまちづくりを目指したJC運動に繋がります。そして、活動を支えて頂きました関係各団体の皆様に対して感謝の意を伝え、JC運動への御理解・御協力をお願いする機会として賀詞交歓会を開催し、共にこの東根をより魅力的な街にするための密接な協働関係を構築します。さらに、多種多様な媒体を有効に活用し、あらゆる年齢層の方々へ幅広く発信することで、まちづくりに対する我々の運動の効果を高めます。また、魅力的な運動を展開する上で、メンバー一人ひとりの力が必要不可欠であるため、会員資質向上に即した事業を展開し、メンバー同士の絆を深めます。そして、ブロック大会では、各種ファンクションへの参加や他団体との交流から、東根市の魅力の再発見とJCの一員としての学び気づきを得ることで、当青年会議所の魅力的な事業実施へと繋がります。さらに、卒業生を送る会を盛大に開催し、共にJC運動を行ってきたメンバーの卒業と新たな門出を祝します。

総務広報委員会は、広範な職務に携わるため、受け身ではなく自ら積極的に働きかけることでメンバー個人の成長だけでなく、東根青年会議所全体の成長に繋がるよう取り組んで参ります。

事業計画

事業名	予算額
総会の設営	¥115,904
新春賀詞交歓会(1月例会)	¥518,394
対外広報紙の発行(東根青年会議所新聞55号)	¥163,682
HP、FBの運営管理と情報の発信と記録	¥173,851
会員の資質に関する事業	¥1500
第50回山形ブロック大会山辺大会(7月第1例会)	¥31,500
卒業生を送る会(11月例会)	¥231,180

各委員会の調整（委員長会議）	—
その他	—
総予算額	¥1,236,011

【まちづくり委員会】

担当副理事長 石山 高広

委員長 三浦 斉

副委員長 大山 和宏

メンバー 天野 幸子

メンバー 木村 博

メンバー 青柳 紀子

メンバー 井上 義悦

メンバー 片桐 伸治

メンバー 後藤 進也

メンバー 横山 直紀

メンバー 阿部 淳

基本方針

果樹王国と謳われる東根市は、さくらんぼを始めとする農業が活発であり自然が身近に感じられ、比較的生活環境に恵まれております。さらに魅力ある輝いた地域にしていくためには、いま一度私たちのまちを見つめ直すことが必要です。

まずは、東根市を担っていく人材になるために、JYACEE、青年経済人としての高い能力や資質を養い学べるよう、自己の成長に繋がる事業を展開させたいと考えます。また、地域資源と連携を活かしたまちづくりの推進のために、我々地域の方々と事業をとおして地域の魅力を再発見し、「地域の宝」を創出することで「活力ある東根」が創造でき、地域や各種団体と協働連携、交流することで「地域や共感で繋がるコミュニティの創造」が実現できるよう、今年度も力強くまちづくり運動を行っていきます。

事業計画

事業名	予算額
会員資質向上に関する事業（3月委員会事業）	¥32,600
種飛ばしグランプリへの参画	—
山形ブロック協議会協働事業（6月例会）	¥16,500
ひがしね城下町祭りへの参画（7月第2例会）	¥94,200
公開事業（10月第1例会）	¥151,500
その他	—
総予算額	¥294,800

【青少年育成委員会】

担当副理事長 元木 豊

委員長 榎 健太郎 副委員長 高橋 範一

メンバー 佐々木 洋子 メンバー 渋谷 泰彦 メンバー 荒井 幸俊

メンバー 奥山 文彦 メンバー 佐々木 亮太 メンバー 菅井 賢治

メンバー 横尾 智広

基本方針

私たちが暮らす現代社会は情報技術の進化により、人と直接顔を合わせることなくコミュニケーションを図る機会が増え、また人とふれあう機会が減ったことにより、人間関係や地域の関係が希薄化しているのも事実です。子供たちの模範であるべき私たちは違う時間を生きる人、違う環境で働く人、違う地域で暮らす人を理解しようとせず、無意識に否定的な発言をしがちです。まずは自らが他者への理解に努め、尊重し、おもいやりの心を持ち、その言動をもって子供たちの徳性を養う必要があります。

まずは、地域で活躍できる魅力あるJAYCEEを増やすために、入会年数の浅いメンバーにも理解しやすい利益のある事業を行い、会員資質向上において根源となるJC運動への参画意欲を高めます。そして、地域の発展や子供達の将来のために、地域の方々と連携を深めながら、協働で青少年健全育成を図れる事業を実施し、次世代を担う子供たちの「おもいやりの心」「良心」「他者を思う道徳心」を育みます。さらに、地域に貢献できるJC運動が益々発展するために、日頃から支えてくれる家族や周囲の方々に感謝の気持ちを伝える機会を設け、JC運動、活動への理解を得られる環境を構築します。

これからの一年間の事業を通して、我々一人ひとりが地域で活躍する魅力あるJAYCEEに成長するとともに地域全体で青少年健全育成を推進し、次世代を担う子供たちが未来のリーダーに育つことのできる環境をつくり希望に満ち溢れる輝かしい東根の創造を実現します。

事業計画

事業名	予算額
会員資質向上に関する事業（2月委員会事業）	¥8,400
第31回わんぱく相撲 東根大会（5月例会）	¥296,460
第33回わんぱく相撲 全国大会（7月委員会事業）	¥135,000
クリスマス家族交流会（12月例会）	¥391,000
その他	—
総予算額	¥830,860

【事務局】

専務理事 荒井 俊太郎

事務局長 牧野 仁 事務局補佐 鈴木 康徳

基本方針

メンバー全員が情熱を持ってJC運動を展開できるよう、各委員会と連絡を密にし連携を強化するとともに、メンバー一人ひとりとコミュニケーションを図りサポートを行うことで、各種事業へ参加しやすい環境を作ります。また、他団体との協働事業が円滑に実施できるよう、行政や他の関係団体との窓口として事業案内や協力依頼等の情報をメンバーへ迅速に提供し、他団体からの要求に対し素早い対応を行うことで地域から信頼される組織の確立を図ります。

全国大会を始めとする大きな大会は、全国各地からメンバーが一同に会し式典や各種ファンクションが準備され、これらの事業を体験することはメンバーがJAYCEEとして成長できる貴重な機会であります。各種大会における情報収集と発信を迅速に行いメンバーへの参加促進を図ることで、より多くの学びと気づきの場を提供します。

理事会等の各会議においては、当会議所運動の基本である法令遵守に主眼を置き確認することによって、会議が滞ることがないように資料内容や予算を事前に確認するとともに、会議当日は円滑な進行を行い、当会議所の運動がより良質なものとなるように各会議を設営します。

当会議所は本年度で創立41周年目を迎えます。これまで先輩諸兄が築いてきた歴史と伝統を引き継ぎ、今後のJC運動が情熱を持って行動できるようにするため、先輩諸兄から直接これまでの経験を学ぶとともに、創立記念日を盛大にお祝いするためにJCデーを開催します。

会員拡大はJC運動を展開するうえで、いつの時代でも変わらない大きな課題です。これまでの会員拡大に関する手法のうち、成功例は継続して実行し見直しが必要な点は積極的に新たな手法を取り入れる等、より効果的な会員拡大運動ができるよう設営します。また、会員拡大に関する情報については、これまで同様に幅広く情報を収集し一人でも多くの会員が入会できるよう、メンバー全員と情報を共有し会員拡大運動を実践していきます。

事業計画

事業名	予算額
事務局の運営	—
理事会・常任理事会の運営・設営及び議事録の作成	—
総会の議事録作成	—
事業の予算及び決算に関すること	—
一般社団法人東根青年会議所定款及び規程の見直しと変更	—
登記に関すること	—
庶務に関すること	—
メーリングリストの管理と運営	—
会員拡大に関すること	—

新入会員の備品手配と管理	—
会員会議所会議・山形ブロック協議会役員会議の設営	—
行政関係会議への調整	—
災害時の対応窓口及び災害ネットワークの管理と更新	—
第32回理事長杯ゴルフコンペ	—
さくらんぼマラソンへの参画	—
ASPACウランバートル	—
第24回東根市地区対抗駅伝競走大会への参画	—
京都会議・サマーコンファレンス	—
東北青年フォーラム in 奥州・全国大会埼玉中央大会	—
JCデー（10月第2例会）	¥252,100
その他	—
	総予算額
	¥252,100